

令和2年度地方創生推進交付金採択状況(新規・継続)

交付決定事業名	事業概要	交付決定額(千円)
<p>1 えべつ食のブランド海外展開促進事業 【令和2年度新規事業】</p>	<p>平成23年に国から指定を受けた「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」の目標を達成するため、海外輸出に興味があるものの実績がない企業、さらには輸出の考えを持ち合わせない企業に対し、それぞれの取り組み状況に応じた、きめ細やかなサポートを展開することにより、市内の食関連企業全体の底上げを図り、地域における「海外から稼ぐ力」を創生する。</p> <p>【1年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外江別フェアの開催(台湾(予定)) ・海外バイヤーとの商談会の開催 ・海外への販路拡大取組支援 ・外国語パンフレットの作成 	<p>855</p>
<p>2 江別市就労支援プログラム事業 (江別まちなか仕事プラザ事業～女性と高齢者等の就労支援) (介護人材養成支援事業) 【令和2年度新規事業】</p>	<p>女性・シニアを中心とした潜在的労働力が、市内への就労に結びつくよう、市内大型商業施設内に就労相談、各種研修、企業との交流ができる総合型就労支援施設を設置する。</p> <p>さらに、市内企業が人材活用の幅を広げられるよう、企業向け支援セミナー等も実施することで、求職者と雇用者の双方を支援し、地域で活躍できる人材の育成・確保を目指す。</p> <p>介護分野では介護業務未経験者を対象に、入門的研修を実施することで介護人材の育成を図り、市内介護事業者への就労支援を行うことで介護人材の確保を図っていく。</p> <p>【1年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型就労支援施設の設定 ・女性・シニアを中心に研修や市内企業とのマッチングの実施 ・介護分野における入門的研修や初任者研修による資格取得及び介護事業所とのマッチング など 	<p>16,840</p>
<p>3 若者「えべつ愛」育成プロジェクト～「関係人口」の創出・拡大を目指して～ 【令和2年度新規事業】</p>	<p>市内大学生の「江別の認知度」を向上させ、「江別への愛着」を高めるため、大学生を対象に、江別に関する情報発信や、地域交流会、江別認知度向上バスツアーなどを通じて地域の様々な分野で活躍する方々と交流する機会をつくる。こうした取組により、卒業転出後も江別市に関心を寄せてもらい、多様な江別市との関わりを持続させることで「関係人口」の創出・拡大を図る。</p> <p>【1年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局設立(体制整備) ・市内大学生を対象とした意識調査・アンケート調査の実施 ・事業のシンボルである統一ロゴ、ポスターを作成 ・市内各大学に「江別PRブース」の設置 など 	<p>4,890</p>
<p>4 学生お試し移住・定住推進プロジェクト 【令和2年度新規事業】</p>	<p>江別市内4大学の学生に、連携8自治体の地域や企業の魅力を伝えることで、当該地域に移住就業させ、地方創生の実現を目指す事業。</p> <p>実際に地域で暮らしながら参加するインターンシップや、優良な地域企業の掘り起し、コーディネーター同席のもと行う企業訪問などを中心に、学生の地域移住に対する心理的障壁を下げ、移住就業を後押しする。</p> <p>更に、地域での起業を促すため、学生を対象とした起業セミナー等を開催する。</p> <p>【1年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住体験型インターンシップの実施 ・学生向けPRチラシの作成 ・地域企業訪問説明会の実施 など 	<p>1,526</p>
<p>5 江別市観光振興計画推進事業 【継続事業:2年目】</p>	<p>「江別市観光振興計画」を推進するため、計画で定めたサイクルツーリズム、日帰り周遊観光の推進、市内イベントの充実、市外プロモーションの推進やSNS等を活用した江別市の魅力等の情報発信の強化を図る。また、江別の魅力を凝縮した新たな特産品の開発を財政面から支援するため、産業連携新商品開発等支援補助金を創設する。</p>	<p>4,279</p>
<p>6 江別版生涯活躍のまち推進事業 【継続事業:2年目】</p>	<p>市民が市外に転出することなく生涯にわたって暮らし続けられるまちづくりの実現を目指し、アクティブシニアや障がい者が就業、ボランティア等に携わり市内で活躍することを通じて、様々な地域課題の解決に寄与するような仕組みを構築する。</p> <p>2年目は開設準備室のオープンや市民説明会、勉強会を実施するとともに、江別版「生涯活躍のまち」のPRを行う。</p>	<p>6,506</p>

令和2年度 えべつ食のブランド海外展開促進事業

1 目的

江別市は平成23年に国から指定を受けた「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」の目標を達成するため、これまで東南アジアをターゲットに、海外に輸出実績のある企業を中心に販路拡大支援に取り組んできた。

今後3年間は、こうした企業に加えて、海外輸出に興味があるものの実績がない企業、さらには輸出の考えを持ち合わせない企業に対し、江別市がそれぞれの取り組み状況（レベル）に応じた、きめ細やかなサポートを展開することにより、市内の食関連企業全体の底上げを図り、地域における「海外から稼ぐ力」を創生する。

2 事業概要

上記の目的を達するため、1年目である本年度は、海外で食品試食・販売等や企業との商談の実施、海外からのバイヤー等を招聘した商談会（相談、磨き上げ等）を開催するとともに、企業自らが実施する海外への販路拡大に向けた取り組みに係る経費を支援する。

また、外国語パンフレットを作成し江別の魅力を海外に向けて広く情報発信する。

項目	概要
海外江別フェアの開催 (委託)	海外で食品試食・販売等する「海外江別フェア」の開催、海外現地での企業訪問（百貨店、大手スーパー）による商談と流通関係事業者との意見交換を行う。 ・時期：11月頃（予定） ・場所：台湾（予定） ・参加者：海外への販路拡大や新たな海外市場に挑戦する江別市内の食関連企業等
海外バイヤーとの商談会の開催 (委託)	道内の他都市と連携して海外バイヤーを招聘し、江別市内の食関連企業や生産者を訪問等し、海外への販路拡大に向けた商品の商談や相談・磨き上げを行う。 ・時期：9月頃（予定） ・招聘バイヤー：東南アジアのバイヤー ・参加者：江別市内の食関連企業等
海外への販路拡大取組支援 (補助)	海外への販路開拓を目指す企業の取り組みを支援するため補助する。 ・補助率等：2分の1、上限20万円 ・対象経費：旅費（「海外江別フェア」参加旅費）等
外国語パンフレットの作成 (委託)	海外への販路開拓を目指す企業の取り組みに対し支援するため、江別の食の魅力を広く伝える外国語パンフレットを作成し、「海外江別フェア」等で配布する。 ・言語：英語又は台湾語（繁体字） ・部数：300部（予定、今後検討）

3 来年度以降の予定

	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)
事業概要	前記のとおり	<ul style="list-style-type: none"> ・海外江別フェアの開催 (市長トップセールスの実施) ・海外バイヤーとの商談会の開催 ・海外への販路拡大取組支援 ・PR動画の作成 ・外国語(多言語)パンフレットの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外バイヤーとの商談会の開催 ・海外への販路拡大取組支援 ・PR動画・パンフレットによるプロモーション(インバウンド向け等) ・海外バイヤーの意見を参考にしたワークショップの開催

【留意事項】

海外をターゲットとする本事業は、新型コロナウイルス感染症により、日本国内だけではなく海外の感染状況や相手国の政策動向等にも影響され先を見通すことができず、現在、事業を進めることができない状況。「海外江別フェア」を予定している秋以降においては第2波、第3波の襲来が懸念される中、事業実施に向けては厳しい状況が続くと想定される。

今後とも、状況を注視しながら、関係機関等とも協議のうえ、実施内容の見直し等について判断したい。

江別市就労支援プログラム事業

1. 江別まちなか仕事プラザについて

(1) 運営概要

就職希望者と地元求人企業を繋ぐ地域密着型の総合型就労支援施設を市内商業施設「イオンタウン江別」2階に開設する。

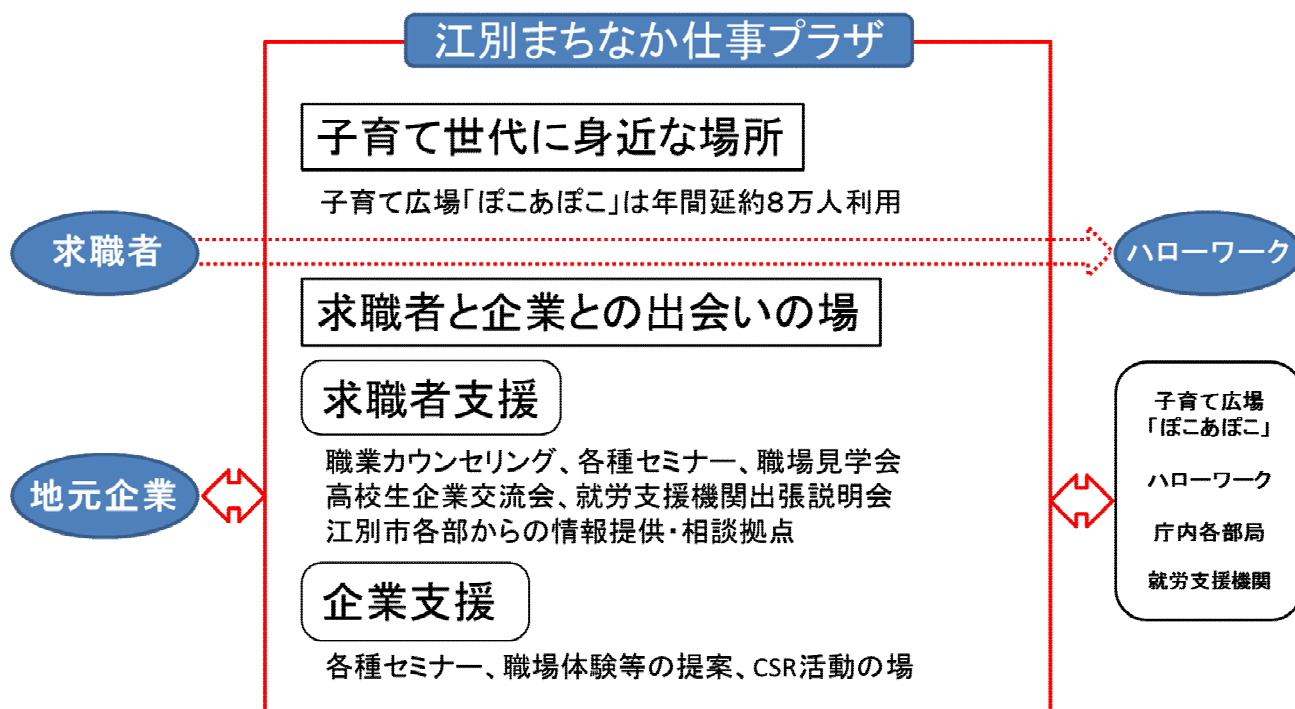
拠点施設にはキャリア支援員が常駐、随時就労相談を受け付けるほか、求職者が希望する働き方のニーズに沿った内容のセミナー等を実施する。

また、企業訪問担当者を設置し、地元企業の採用ニーズを把握しながら、企業の認知度向上や人材確保が進むような企業向けのセミナーも実施する。

(2) 施設概要

- ① 運営開始日 令和2年5月15日（金）
- ② 営業時間 火曜日～土曜日 9時30分～17時30分
- ③ 拠点施設 イオンタウン江別2階（江別市野幌町10-1）
※市民活動センター跡地

(3) 実施イメージ



2. 介護人材養成支援事業について

(1) 事業目的

国が提唱する「入門的研修」を実施することにより、中高年齢者や子育てが一段落した者等の介護未経験者の介護分野への参入促進を図り、研修修了者については、介護事業所への就労支援を行う。また、更なるステップアップを希望する者については、人材派遣会社による短期雇用を通して、資格の取得や職場実習を行い、事業所への就労支援を行う。

(1) 事業内容

① 入門的研修の実施

- ・ 対象者

中高年齢者や子育てが一段落した者等の介護未経験者

- ・ 事業の流れ

- ✓ 介護未経験者を対象に、入門的研修を行う。
- ✓ 研修修了者については、市内介護事業者への斡旋等の就労支援を行う。
- ✓ 更なるステップアップを希望する者については、②の支援を受ける。

② 人材派遣業者を通しての就労支援

- ・ 対象者

①の研修を受講して更なるステップアップを希望する者

- ・ 事業の流れ

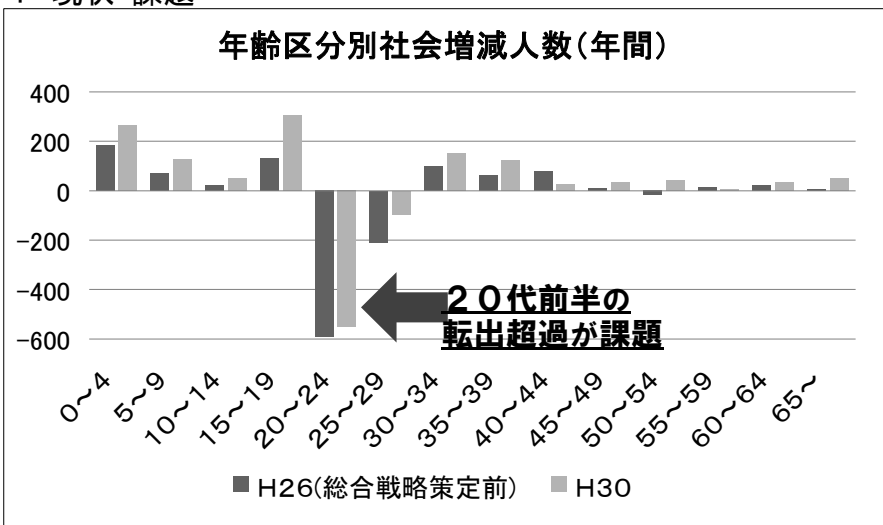
- ✓ 対象者を人材派遣会社が短期雇用(2か月)する。
- ✓ 人材派遣会社は対象者に「介護職員初任者研修」を受講させることで、訪問介護員としても就労可能な資格を取得させる。
- ✓ 対象者に介護事業所での職場実習を受けさせ、対象者と介護事業者とのマッチングを行い、直接就労に結びつける。

若者「えべつ愛」育成事業について

江別市内には4つの大学が立地し、約1万人の学生が在学しているが、卒業後は、職種の豊富さや若年者の嗜好に合った生活利便性から札幌市等の大都市に就職・移住する学生が多い。

そこで、定住や観光を促す取り組みと並行して、学生や卒業生に対する江別市の認知度向上と愛着心の育成に取り組み、江別市との長期的かつ多様な関係の構築を図る。(=関係人口の創出・拡大)

1 現状・課題



2 原因

【第2期総合戦略策定に係る意見交換会での大学生の主な声】

- ① そもそも江別を知らない
 - ・江別方面に何があるのか知らない
 - ・大学で江別という文字を見ない
- ② 江別への定住・就職を考えたことがない
 - ・江別を知らないので行こうと思わない
 - ・就活で調べても江別の企業を見たことがない
- ③ 江別は若者に対するPRが足りない
 - ・市も企業も大学生へのアピールが足りない
 - ・江別の企業やお店・観光施設などの情報が欲しい

3 対応(事業の枠組み)



初年度事業の進め方(委託事業)

- 【STEP1】
 - ①(仮)若者「えべつ愛」育成プロジェクト事務局を設置
 - ②コーディネーターを配置
- 【STEP2】
 - ①大学生アンケートにより意識とニーズを把握
 - ②プロジェクトをPRする統一ロゴを作成
 - ③プロジェクト参加者を募るスマホ・アプリを開発
- 【STEP3】
 - ①大学内に江別PRブースを設置
 - ②市内で活躍する社会人や企業等と学生との交流会を開催
 - ③アプリ等を活用した情報発信によりえべつファン登録者を募集

えべつファンの拡大と継続的な関係構築へ

学生お試し移住・定住推進プロジェクト

(愛称：ジモガク、前身事業：学生地域定着推進広域連携事業)



事業目的

- ①連携8自治体(※1)の定住人口の増加
- ②市内4大学の学生(※2)のキャリア形成
- ③企業の人材確保

※1 江別市、芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町

※2 酪農学園大学、北翔大学、札幌学院大学、北海道情報大学の学生(短大生、大学院生含む)

内容

前身事業では、イベントボランティア等の活動に学生が参加し、地域への理解と愛着を持ってもらうことで、3年間で13名の学生が連携自治体に定着、就職している。

今年度からは、学生に地域で定住就職したときの具体的な生活イメージを持たせるために、イベントボランティアに加えて、以下の3つの取組みを新たに実施し、定着者数の増加を目指す。

移住体験型インターンシップ

地域のお試し住宅等で実際に暮らしながら、企業インターンシップを体験



地域企業訪問説明会 支援プログラム

新規の人材を必要とする優良企業等を掘り起し、学生の企業訪問を促す



学生起業家支援プログラム

起業を志す学生へ、セミナー等を開催し、事業の成功率向上を目指す



学生地域定着推進広域連携事業 活動実績



活動実績

	H29	H30	H31
登録学生数	466名	596名	621名
延べ活動学生数	778名	732名	726名
実施プログラム数	77	81	83
※各年度末現在			

赤平市 (人口 11,105人)
(のべ14名参加)
・企業インターンシップ
・小中学生学習支援
・あかびらエルム高原マラニック運営

芦別市 (人口 14,676人)
(のべ15名参加)
・観光施策検証のワークショップ
・ベースボールサマーキャンプ運営
・企業インターンシップ

卒業生 地域定着事例

	H29	H30	H31
江別市	4名	江別市 3名	江別市 3名
長沼町	1名		栗山町 2名

三笠市 (人口 9,076人)
(のべ6名参加)
・みかさ桂沢紅葉まつり
・市内企業を知るツアー

江別市 (人口 120,636人)
(のべ463名参加)
・企業・公務インターンシップ
・地域イベント(各種夏冬祭り等)運営
・社会福祉施設での事業体験
・地域ワークショップ 等

栗山町 (人口 12,344人)
(のべ70名参加)
・子育て支援ボランティア
・地域イベント運営ボランティア 等

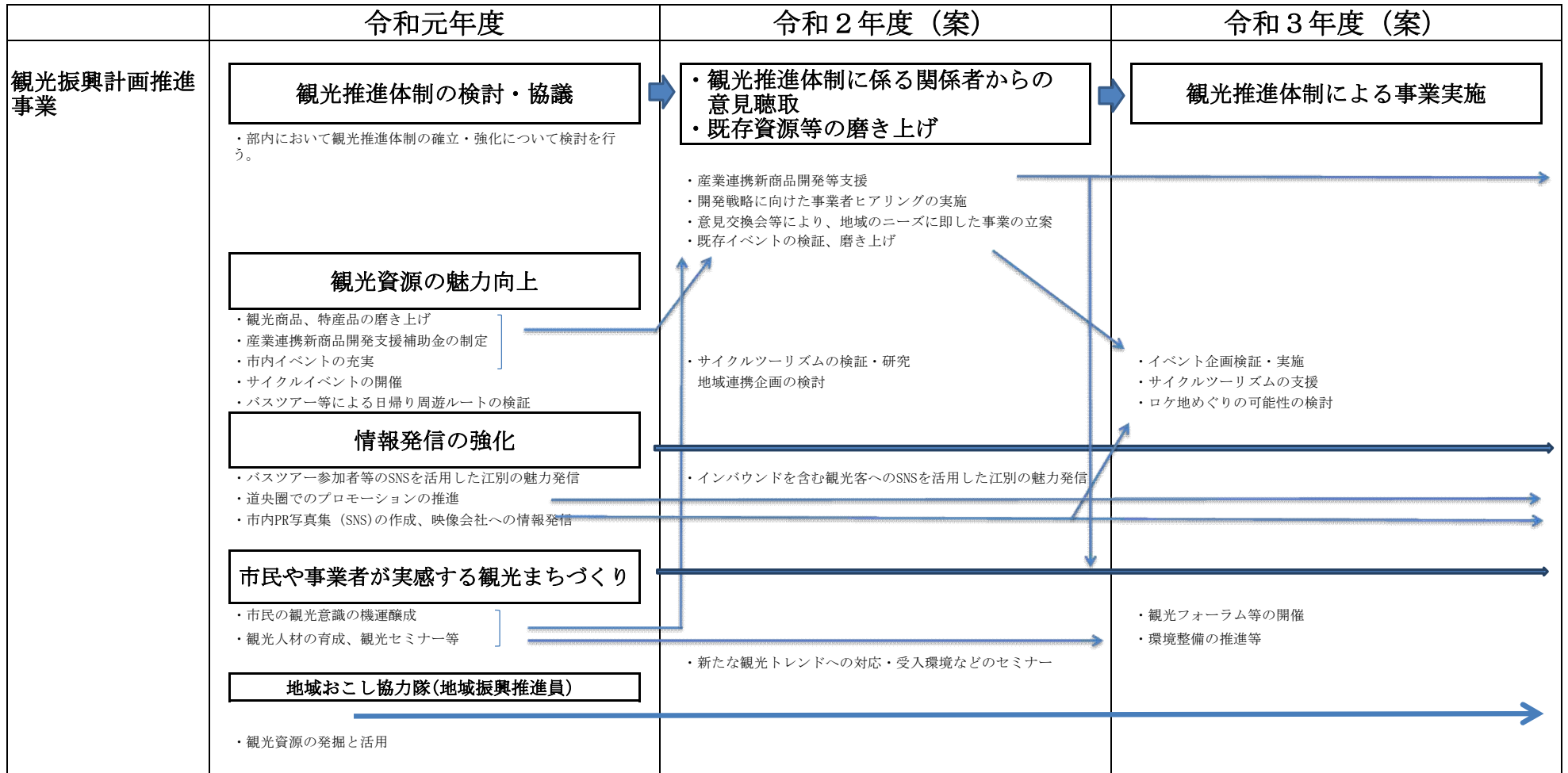
南幌町 (人口 7,927人)
(のべ86名参加)
・農業等各種イベント運営
・高校学校祭ブース運営支援
・自然体験学習支援 等

長沼町 (人口 11,076人)
(のべ52名参加)
・夕やけ市イベント運営補助
・冬休み児童交流事業 等

由仁町 (人口 5,314人)
(のべ20名参加)
・全町対抗ソフトボール大会
・小学生冬休み学習補助 等

※ 各自治体の人口は平成27年国勢調査による

観光振興計画推進事業（3ケ年計画）



江別版生涯活躍のまち推進事業について

<江別版生涯活躍のまち（CCRC）の概要>

(1) 江別版生涯活躍のまち（CCRC）がめざすもの

- ・ 江別市民の誰もが生涯にわたって市外に転出することなく安心して暮らすことのできるまちづくり
- ・ 平成27年3月に閉校した札幌盲学校跡地に高等養護学校を誘致し、生徒の就労実習等の場とするほか、元気な高齢者、若年者、障がい者など多様な主体が交流する「共生のまち」の実現
- ・ 当該地をモデル地区（江別市大麻）として位置付け、成果をもとに将来的には江別市全体に波及

(2) 事業者

社会福祉法人 日本介護事業団

(3) 供用開始予定

令和3（2021）年3月

(4) 今後のスケジュール予定

令和2年7月～8月：生涯活躍のまちワークショップ

令和2年10月：市民説明会

(5) 生涯活躍のまち事業イメージ



(6) 拠点地域の施設配置予定図

